市立看護大学院と川崎・幸 休日急患診療所の併設に伴う災害時の医療救護活動拠点機能の強化へ

川崎市議会予算審査特別委員会において、北庁舎への移転複合化が検討されている「休日急患診療所」と「市立看護大学院等」の併設について質問しました。

休日急患診療所は、災害時には医療救護活動拠点機能となる重要な施設です。看護大学・大学院が併設されることで、看護師資格を持つ教員や学生など人的資源との連携が可能となり、より実効性の高い災害対応に繋がることが期待されます。

私は、災害時に行われるトリアージだけでなく、その後の応急処置や、重度の傷病者を救急医療機関へ取り次ぐまでの間、安静に待機させ、酸素吸引など最低限の処置が可能な設備など、**実践的な備えが重要であると提案しました。**

今後の整備検討にあたり、関係機関との連携や訓練の充実を図り、**より高い水準の災害時医療救護活動拠点機能の形成に繋がるよう求めました。**



ツナジロウのひとこと

「災害は“起きてから頑張る”では遅い」
だからこそ、平時にどこまで備えられるか。
命を守る準備に、やりすぎということはありません。



『未来へ働き続ける、想いを「ツナ」ぐ。』イメージキャラクター：本マグロ ツナジロウ